



第80号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
TEL.<0531>22-2622 F A X.<0531>22-2625

外国人によるスピーチコンテスト&市民海外派遣帰国報告会

参加者募集

日 時 11月18日(日) 9:30~12:00
場 所 田原文化会館 202・203会議室

市内に住んでいる外国人の方が、毎日の暮らしの中で感じたことを日本語で発表します。彼らの体験談から日本人とは違ったものの見方を見つけることができるでしょう！

なお、スピーチコンテスト参加者募集は10月19日(金)締切りです。

同時開催

市民海外派遣帰国報告会

スピーチ発表後、同会場において韓国の姉妹都市銅雀区を訪れた海外派遣参加者が現地での市民交流の様子を報告します。

姉妹都市大韓民国ソウル特別市銅雀区について興味のある方、次回は市民海外派遣に参加してみたいとお考えの方、ぜひ帰国報告会におでかけください。



※事前の申し込みは不要です。当日、会場へお越し下さい。参加費は無料です。

クリスマス会

日 時 12月8日(土) 18:00~20:00

いろいろな国の手作り料理とビンゴ大会、ライブなどでクリスマスを楽しみましょう。

詳細は、11月ごろお知らせする予定です。



※イベントの申し込み、問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ

JICA研修員歓迎会

8月2日から4日まで国際協力機構（JICA）筑波国際センターより6カ国7名の研修員の方が田原市を訪れ、市内の農家やかんがい排水施設を視察しました。

到着日には歓迎会が開催され、一般市民やホストファミリー、会員などおよそ100名の方が参加し、楽しい時間を過ごしました。

今回、ホストファミリーをはじめて経験された藤山浩之さんに感想をいただきました。

2泊3日の短い期間ですが、オファーリングさん（マラウイ）27才女性のホストファミリーをしました。

そのきっかけは春先に娘がアメリカで2週間のホームステイを経験し、その際とても温かいホストファミリーの対応を聞き少しでも恩返しが出来ればとの思いがあったからです。

歓迎会を終え、自宅への車中では、普段接する機会の少ないアフリカの方なので独特の民族衣装から生活習慣の違いを心配しましたが、普段着に着替えた彼女は特に日本の生活スタイルに疑問を抱く様子もなく食事、寝室、風呂等の説明を快く受け入れてくれました。

そんな中で一番困ったことは食事に関してのことでした。せっかくの日本滞在ですので、海に囲まれた四季おりおりの日本食を堪能してもらおうと奮発して準備した生鮮食品でしたが、明らかにほんの少しだけ無理して食べていることがわかり、聞いてみると“チャレンジしているが、私の口がどうしても受け付けない”とのことでした。

“普段は何を”と聞くと“チキン”とのこと！ひたすら白米とチキンを頬張っていました。折しもオリンピック真っ最中であの100mの金メダリスト、ボルト選手もチキンが好物で共通しているとの話題で盛り上がりました。

食事後、彼女の行動に我々も感心させられました。食器洗いを率先して手伝ってくれましたが、その後に続けて流しのシンクを洗い出しました。我が家でもあまり洗わない場所を洗うので“そこまでなくていいよ”と言うと“普段から洗っておくと汚れが取れやすい。時間を置くとゴシゴシしなくてはいけなくなって大変だ”とのこと。なるほど一本取られました。

生活習慣の違いと考え方、物を大切に使用することを再認識しました。

非常に短い時間ではありましたが、充実した刺激的な時を過ごしました。この研修計画に携わっているすべての方に感謝です。今後もまた協力したいと思います。



「初級中国語教室」好評開催中です！

今年も、8月22日から全8回（毎週水曜日19：30～21：00）の予定で「初級中国語教室」が開催されています。

講師は、中国出身で会員の操清霞さんです。手作りテキストを使い、発音の基礎から日常会話までを楽しく学んでいます。

正しい発音で学べ、現地の生情報に触れることもできると毎回好評です。

旅行で、会話で、学んだ中国語を使って交流を深めていくことができるといいですね。



第21回田原市民海外派遣

《韓国銅雀区にて音楽文化交流しました》

たはら国際交流協会の会員となり15年が過ぎました。そこで一大決心をし、今回初めて市民海外派遣に参加させていただきました。毎回、田原市民海外派遣では、単なる海外旅行では味わえない姉妹友好都市交流があり、それが魅力となっています。そして、今回の韓国銅雀区では「音楽・文化交流」ということで、8月30日から9月2日までの日程で22名が参加し、斎藤憲子さんのすばらしい「詩舞」と、他の参加者による心のこもった「合唱」で市民交流をしてきました。



参加者の中には合唱団で活躍している方が数人みえましたが、ほとんどが私のように日ごろ合唱とは縁のないメンバーでした。しかし出発前、参加者の森下静子さんをはじめとする合唱団のメンバーを中心に5回の練習を重ね、韓国での発表は大成功を収めることができました。

8月に入って、竹島問題がテレビや新聞をにぎわすようになり、どうなることかと心配しましたが、そんな政治的問題はどこ吹く風、訪れた銅雀区役所をはじめとする市民のみなさんはとても友好的で親しげに接してくれました。ただ、ひとつ残念だったのはせっかく同じテーブルについた市民の方々と、言葉がわからないためにお話をする事ができなかったことです。「こんにちは」、「ありがとう」だけでなく、もっと韓国語を覚えたいと思いました。

短い時間ではありましたが、世界文化遺産の水原華城や、昔の暮らしがしのばれる韓国民俗村。かつて王様が住んでいた景福宮などの歴史的な建造物を、流暢な日本語で説明を受けながら巡ることができました。

最後に、夕食後の自由時間には、あかすり、エステ、屋台、買い物etc.各自時間が許す限り思う存分満喫できたのではないのでしょうか。ちなみに、私はと申しますと子供達に頼まれたお土産を探して、短い自由時間の中で明洞の街をあっちの店、こっちの免税店と走り回ってきました。おかげで頼まれた物はゲットできましたが、残念ながら自分のおみやげはなし。「必ずもう一度ここに来るぞ!」と固く心に誓いました。

第5回多文化研修会IN京都

たはら国際交流協会では過去4回、京都、奈良、伊勢、富士山と日帰りで出かけられる日本の名所を巡り、文化や歴史にふれる研修会を実施してきました。今年は、ふりだしにもどって、行き先は京都、清水寺と宇治の平等院を見学しました。

8月5日(日)、天候は晴れ。雲が少し多めだったので、ガラガラとした太陽の日差しこそありませんでしたが、熱中症対策として参加者全員にペットボトルの水を用意して、観光バス3台で早朝出かけました。バスの中では、恒例のビンゴゲームやカラオケのほか、バスの座席でチーム分けをして、チーム対抗で見学先の清水寺や平等院に関するクイズを解いて過ごしました。また清水寺の入口にある手水舎(ちようずや)で、当協会スタッフが参加者に手や口を清める所作の手ほどきをしていたら、一般の日本人観光客から「大変勉強になりました」とお礼を言われる一幕もありました。



夏の暑い時期の開催でしたが、多くの写真を撮り、たくさんのお土産を買って、途中集合時間に遅れる人がいたなどの小さなトラブルはあったものの、参加者全員夜8時過ぎには田原に無事戻ってきました。

ジョージタウンより



大学進学について（第3回）

高校2年に当たる11年生の春に、ケンタッキー州で義務付けられている標準テストACTを11年生全員が受験します。ACTはアメリカ中西部でよく使われている全国標準テストですが、日本ではSATの方が知名度が高く、SATは広く全国的に使われています。出願する大学によってどちらを好むかという傾向はあるようです。インターネットで検索するとどれくらいのスコアがあればどの大学に入れる可能性があるか？という情報もありますし、大学でボーダーラインのスコアを入学案内に記載しているところもあります。両方とも基本は英語のリーディング・ライティング・グラマーと数学の力をテストします。進学先によって科目テストを受けることが義務付けられている場合は上記基本科目に加えて科目テストを受けます。日本のセンター試験に比べて良い点は、SATもACTも年に1～2ヶ月おきに実施されているので何度も良いスコアを取るために受験できることです。もちろん受験料はそのつどかかりますが一発勝負でないところは助かります。テストのスコアはテスト機関から大学に直送されるので不正はありません。ただレポートも後で頼むとその都度費用が発生します。SATとACTが課される理由は、生徒の学力を全国レベルでどのくらいか客観的に知るためです。GPAだけでは州や学校により格差があるからでしょう。

学校からの推薦状は生徒がどんな人なのか大学側が知る上で重要な書類です。生徒が細かく記した調査票をもとに学校のガイダンスカウンセラー（以後GC）が作成します。高校のGCの仕事は生徒のスケジュールと単位履修に関する相談や入学願書の必要書類の作成です。つまり受験時一番お世話になるスタッフと思ってください。日本の担任制度と違いアメリカの高校では名ばかりの担任なので、進学に関する一切の相談はGCにすることになります。私の娘が通ったスコット高校では苗字のアルファベット順にGCの担当が決められていました。娘は日本の大学を受けたのですが、それでも山のように書類が必要で、それも受験先によって細かく異なったりし、慣れない日本の大学受験のため何度も書類を書き直してもらったりととても面倒をかけましたが、いつも快く迅速に対応して頂きました。本当に有難く、日本にはない素晴らしい制度だと思いました。アメリカでは高校時代に勉強以外に部活動、ボランティア、アルバイト、習い事等どんな活動をしたか、ということも願書やエッセイ、推薦状に書いて自己アピールします。テストで全てを発揮しなくてはならない日本の制度と比べて、高校時代の毎日の生活のあり方が大きく受験に影響するアメリカのシステムをどう思われますか？

ジョージタウン在住 クーパー・由紀

編集後記

今年の田原祭りは天候にも恵まれ、我が家からも華やかな花火が見られました。賑やかな中にも秋の風情を感じました。

今年はさまざまな行事の中で孫たちの成長を感じた夏でした。花火を見ながらこうした季節は過ぎ、子供たちは成長し、たくましくなっていくんだなあと感傷に浸ったじじ、ばばでした。

(M.S)

下水道：浄化槽・清掃



株式会社 鳳

トイレ・排水管の詰りなどお気軽にご相談下さい。

TEL (0531) 33-0578

FAX (0531) 33-0584

A エース通信株式会社

プリンタ・コピー・FAX・パソコンの設置、電話・LAN工事、インターネット接続などお気軽にお問い合わせください。



and more...

TEL 0531-37-1995

FAX 0531-37-1988

田原市江比間町西前田53-1